

看護記録記載支援システム

名古屋工業大学 岩田研究室 B4 森島 梨央

キーワード: 機械学習、データマイニング、看護・介護

研究の背景

近年、看護記録の電子化が進み、大量の医療情報を機械的に分析可能になった。そのため、保存された大量の情報を有効に二次利用することは医療情報分野の重要な課題の一つである。

岩田研究室では、在宅医療・看護・介護に置けるチームケアを促進する情報流通基盤”スマイルネット”が開発されている。この”スマイルネット”で記入された看護記録を分析したところ、看護記録には以前記入した処置に関する内容を省略する傾向が見られた。

提案・課題

最新の看護記録に未記載の情報があるため、過去の看護記録を参照しなければならないという問題があった。

そこで、過去の記録から処置に関する必要最低限の情報を抽出し推薦を行い、看護師の業務の省力化を図ると共に、省略された文章の削減を目的とし、看護記録の記載支援システムを考え、そのための単語抽出における手法を提案する。

本研究では、単語レベルの推薦を目的として、機械学習の手法の一つである CRF(Conditional Random Fields)による系列ラベリングで単語抽出を行う推薦システムを提案する。

